

沿革・地勢

1 市域の変遷

年 月 日(西暦)	事 項
明22・4・1(1889)	町村制が実施され、関係市町村は府中市村・出口村・岩谷村・広谷村・国府村・栗生村・下川辺村・河佐村・諸田村・上川辺村となる。また、木野山村・行藤村・桑木村・阿字村・の4か村で組合村を設立した。
明29・6・3(1896)	府中市村を府中町と改めた。
明30・6・5(1897)	出口村を出口町と改めた。
明31・4・1(1898)	芦田郡・品治二郡を合併し、芦品郡を設立した。
明45・7・25(1912)	阿字村、組合村から分離独立する。
大2・2・1(1913)	木野山村・行藤村・桑木村を合併し、大正村と称する。
大12・4・1(1923)	府中町と栗生村土生の一部が合併。土生の一部は栗生村。
大14・2・1(1925)	府中町・出口町を合併して府中町と称する。
昭24・4・1(1949)	御調郡から下川辺村が分離、芦品郡へ編入する。
昭24・7・1(1949)	大正村桑木が分離、神石郡高蓋村へ編入する。
昭29・3・31(1954)	府中町・広谷村・国府村・栗生村・岩谷村・下川辺村の6か町村が合併、府中市制を施行した。
昭30・2・1(1955)	御調郡諸田村から、下山田・大山田・千堂地区が分離、御調町へ編入した。
昭30・3・17(1955)	甲奴郡上下町斗升が分離、一部が大正村へ、一部が阿字村へ編入した。
昭30・3・31(1955)	大正村・阿字村を合併、協和村と称する。
昭31・9・30(1956)	河佐村・御調郡諸田村及び御調町三郎丸地区を編入する。
昭50・2・1(1975)	協和村を編入する。
平16・4・1(2004)	甲奴郡上下町を編入する。